

エコチルベビー&キッズ

撮っておきフォト

※2017年2月20日までに応募いただいた方から選ばせていただきました。

とっておきの1枚をお送り下さい!

こちらには参加者様からのご投稿写真を掲載しております。

個人情報保護の観点から、このコーナーのホームページへのアップロードは控えさせていただきます。

つくってみよう 手作りおもちゃ

飛ぶ?! にわとり

作り方

- 紙カップ1個に5mm程の切り込みを4か所入れる
- 輪ゴムをクロスさせて切り込みにひっかける
- 画用紙とクレヨンでにわとりを作る
- 切り込みを入れた紙カップに絵を貼る(直接描いてもOK!)
- 4が上になるように紙カップを重ねて完成!

できあがり!

ポイント

- 紙コップでも作れます
- にわとり以外にも自分なりに描いて楽しめます

遊び方

上に重ねた紙カップを手で下に押しつけてから放すと輪ゴムの跳ねの力で飛び上がります!

飛び跳ねている動画はコチラを見てね

■ 調査の一般的な内容に関するお問い合わせ先

▶ エコチル調査福島専用コールセンター

0120-327-735

平日(土・日・祝日を除く) | 9:00~17:00 |

http://www.ecochil-fukushima.jp

オフィシャル
WEBサイト

エコチル ふくしま

検索



■ 福島ユニットセンターへのお問い合わせ先

・福島本部事務所 (県北・相双地域)

TEL. 024-547-1449

〒960-1295 福島市光が丘1(福島県立医科大学内)



・郡山事務所 (県中・県南・会津・いわき地域)

TEL. 024-983-4780

〒963-8024 郡山市朝日三丁目6-4 レジデンス朝日 第2ビル2階



Japan Eco&Child Study

エコチル

ふくしま 通信



発行/エコチル調査福島ユニットセンター

子どもたちの明るい未来のために

エコチル調査は7回目の春を迎えました。エコチルキッズも年長のお子さんは今年で6歳となります。調査に参加していただいている保護者の皆さま、そして関係医療機関・療育施設の皆さまのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

ご承知のとおりエコチル調査は、大規模で長期にわたる国家プロジェクトの疫学調査です。エコチル調査は、ご同意いただいた当時、参加者の皆さまからご提供いただいた血液等の生体試料の分析を行うとともに、お子さんが13歳になるまでの間、参加者全員に半年ごとにお送りする質問票にご記入・ご提出いただく全体調査と全参加者の内5%に当たる参加者にご協力いただいている詳細調査(環境測定調査、医学的検査及び精神神経発達検査)により成り立っています。このように異なるアプローチから様々なデータを得ることによって、原因(環境要因)と結果(子どもの健康に与える影響)の関連性をより確かなものとし、得られた成果の科学的な信頼性を高めることに繋がります。それを支えるのは収集されるデータの量と収集されたデータの正確さです。参加者の皆さまお一人おひとりが継続してご協力いただくこと、

エコチル調査福島ユニットセンター副センター長
郡山事務所長

横山 公彦

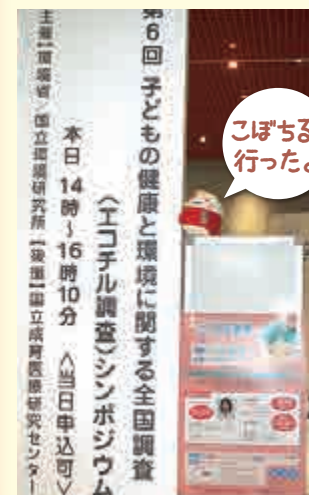


関係医療機関・療育施設の皆さまのご理解とご協力がこの国家プロジェクトの成否の鍵を握っています。

エコチル調査福島ユニットセンターのモットーは、顔の見える調査です。県内各地域で開催する「ふれあい会」や県内全域を対象とした「講演会&コンサート」を通じて、参加者の皆さまの日頃のご協力に対する感謝の気持ちを込め、親子で楽しめる催し、福島県立医科大学の小児科医による子どもを健康に育てるために必要な知識やエコチル調査で得られた情報の提供、助産師による子育てに関する様々な悩みごとに対する助言・相談等を行っております。これからも当ユニットは、様々な機会を捉えて参加者の皆さまの子育てを見守り、寄り添って参ります。

平成29年度もエコチル調査を着実に進めるためスタッフ一同、力を合わせて取り組んで参りますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第6回エコチル調査シンポジウム



平成29年2月18日(土)に江戸東京博物館ホールで開催され環境省、国立環境研究所、全国15ユニットセンターを含む関係者やエコチル調査参加者の皆さまなど全国からたくさんの方々が集まりました。

エコチル調査コアセンター長代行新田先生の「エコチル調査の紹介と子どもの生活環境と健康についての話」に続いて、新米パパでタレントアンガールズの山根さんから子育てについて日々感じる思いや疑問について語っていただき専門家が答えする対談、子育てを支える色々な立場から見た子育てと生活環境についてのパネルディスカッションがあり、子育てのアドバイスとともにエコチル調査への期待が感じられるシンポジウムでした。

なお、毎年お伝えしている新たな集計結果については、報告があり次第「エコチル☆ふくしま通信」や福島ユニットセンターホームページなどで紹介していきますので、ぜひ楽しみにしててください。



エコチル調査福島ユニットセンター
福島本部事務所
リサーチコーディネーター責任者

渡辺 敦子です

皆さま、こんにちは。今年の1月から福島ユニットセンターの一員となりました。前職では、福島県立医科大学の看護師として勤務しており、十数年小児科に携わっております。そこでの経験を活かし、皆さまのお力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

エコチル調査でわかったこと



エコチル調査は7年目を迎えました

調査の意義について振り返ってみましょう！

Q いつから始まったの？

A 平成23年1月から全国で妊婦さんの参加者を募集し、開始しました。福島県では、福島市、南相馬市、双葉郡を対象地域として開始し、平成23年6月に伊達市、伊達郡を追加、さらに平成24年10月に福島県全域へと拡大しました。

Q なぜエコチル調査が始まったの？

A 近年、ぜんそくやアトピーなどの病気が増えていると言われています。さまざまな化学物質が身の回りに増え、それらの物質が、私たちの健康に影響を及ぼしているのではないかと、特に子どもは大人より化学物質の影響を受けやすいのではないかと考えられるためです。

Q 福島県ではどのくらいの方が参加しているの？

A 福島県では1万3千人を超える皆さまにご参加いただき調査を開始しました。この数は現在2～5歳のお子さんの「二人に一人」にあたります。全国では10万人の方に参加いただいておりますが、その中で福島県の参加者が1割以上を占めており、福島県の皆さまがこのエコチル調査を支えていると言っても過言ではありません。

エコチル調査は子どもの健康や成長に影響を与える環境要因を明らかにし、子どもたちが健やかに成長できる環境、安心して子育てが出来る環境の実現を目指しています。未来に向けて動いている調査ですが、現在ご協力いただいている皆さまにも、暫定ではありますが出来る限り多くの収集データの結果をお届けできればと思っております。

おしえて先生！あんなこと、こんなこと

にゅうじしん 乳児湿疹について

寿泉堂総合病院 小児科 部長
金子 真利 先生



Q 赤ちゃんの顔に湿疹ができてしまいます。どうしたらよいでしょうか？

A 生後2～3か月までの間にできる赤ちゃんの湿疹には新生児ニキビや脂漏性湿疹など原因は様々で、まとめて「乳児湿疹」と呼ばれます。基本的な対処法としてマッサージオイルやベビーローションで保湿する、よく泡立てたベビー石鹸で洗ってあげる、寝具や肌着をこまめに取り換えるなどの対処がよいとされています。軟膏などをむやみに塗ると悪化することがありますので、ひどく腫んだ状態や乾燥した状態が続く場合は医師の診察を受けることをおすすめします。

ちようじゅうせき 腸重積について

公立岩瀬病院 小児科 部長
小田 慎一 先生



Q 腸重積ってなあに？

A 腸重積は4か月から1歳半に多くみられ、腸が腸に入りこんでしまう病気です。原因が不明であることも多いですが、アデノウイルスなどの腸管感染症に伴うものがみられます。急に尖がついたように泣いたり、泣き止んだりを繰り返します。その後、嘔吐・血便がみられ、顔色も悪くなり、ぐったりしてきます。治療は、造影剤の入った液や空気を肛門から入れて、入り込んだ腸を押し出して整復します。12時間以内なら70～80%成功します。可能であれば、血便が出たときのおむつを持参し小児科を受診して下さい。

詳細調査にご協力いただいている皆さまへ

4歳の精神神経発達検査と医学的検査が平成29年4月から始まります。

スタッフが検査日について日程調整の電話をいたします。検査実施については、3歳11か月0日から4歳3か月0日（誕生日の1か月前から後ろ3か月）となります。引き続きご協力の程、よろしくお願いいたします。

～お知らせ～

すべてのふれあい会のお申し込みが、ホームページで受付できるようになりました。受付開始後、いつでもお申し込みができますので、ぜひ、お気軽にお申し込みください。

エコチルふれあい会

「参加者同士で気軽にお話できるサロンのようなところがあつたらいいな」という意見から、エコチル調査の参加者向けイベント（エコチルふれあい会）を開催しています。

【参加者の声】

- 親子一緒に楽しめる活動ができて良かった。
- 今日は子どもも楽しめて、親としても相談することができ、うれしい。
- 同じ月齢ぐらいの保護者とお話する機会があつて良かった。
- エコチルグッズがかわいくて、もらえるとうれしい。

in 郡山市
2017年2月22日（水）AM
ミュージカルがくど館
大ホール
参加数 16組



ふれあいカフェ

【参加者の声】

- 小児科医や助産師の講話を聴く機会は貴重なので自分の育児の見直しになり良かった。
- コンサートでピアノに触れたり、動き回っても「大丈夫」と言われ安心した。娘もすごく楽しかったようだ。
- 子ども達と一緒に音楽会に参加するのは初めてだったが、子ども達も楽しく歌ったり、踊ったりしていた。私自身も素敵な音楽が聴けて楽しかった。

in いわき市
2017年1月28日（土）AM
福島県いわき市自然の家
オリエンテーションホール
参加数 13組（32名）



in 会津若松市
2017年3月7日（火）AM
会津稽古堂
1階多目的ホール
参加数 21組（56名）



【参加者の声】

- 子どもに生の音を聴かせることができて良かった。
- 生演奏最高。幸せな気分だ。
- 小児科医のお話、助産師さんのお話、とても参考になった。
- 質問票の記入は大変だが、子どもの成長を知るためにも、続けていこうと思う。

お家でやってみよう！

平成28年度の3歳キッズダンスで行った「ふれあい遊び」です

抱っこでぐるぐる

床におろさずにおんぶから抱っこになってみよう！

立てるかな？

親子で上手にバランスをとってね。手をかるく添えると安心ですよ！

トンネル

色々な場所からくぐってみよう！
お子さんがトンネルになっても楽しいよ！



しがみつけ～！

お子さんがしがみついたら足をゆっくりあげてね！
お子さんの肩に手を添えてね！



平成28年度キッズダンス講師 鍛冶 裕美 先生